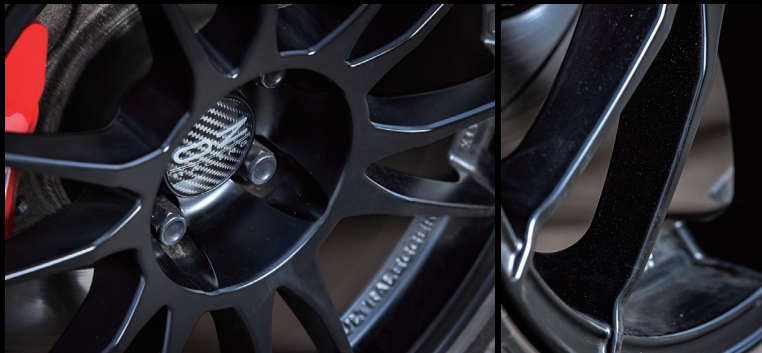




ウルトラレジェーラのスポークは、正面から見るととてもスリムだが、奥行きをしっかりと確保することで剛性を保っている。それゆえに、見る角度でデザインの印象が変化するのもウルトラレジェーラの魅力のひとつだ。

にも感じさせる美しさは、スポーツカーはもちろんのこと、さまざまなクルマにマッチするだろう。

もちろんスポーツホイールとしての性能面もぬかりはない。ウルトラレジェーラはサーキット走行も強く意識したモデルであり、レースで培ったノウハウを活用し剛性と軽さを両立させているという。

また、ユーザーのニーズに応えたサイズ設定も注目ポイント。例えばGRカローラの場合、純正は8.5J+30だが、ウルトラレジェーラは9J+30をラインアップし、ロードアン車面にマッチするサイズも用意。ユーザーの痒いところに手が届く仕様となっていることも、ロングセラーモデルである所以と言えるだろう。

そんなOZレーシングの代表的なモデルのひとつが、ウルトラレジェーラだ。シャープで軽快な印象を与えてくれるスリムなツイン6本スポークのフェイスデザインが特徴のひとつだが、実はウルトラレジェーラは、誕生から25年以上が経つロングセラーモデル。OZレーシングのホイールは、デザイン性の高さも人気のポイントとなっているだけあって、ウルトラレジェーラのデザインはまったく古さを感じさせない。むしろ最新のデザインのように。

OZレーシングはイタリアに本社を構えるホイールブランド。1971年に創業し、F1をはじめWRCやフォーミュラEなど、トップカテゴリーで戦うレースチームにホイールを供給してきた実績を持つ。それだけに、OZレーシングのホイールはレースシーンからのフィードバックも盛り込まれ、ホイールとして高いスペックを誇る。加えてOZレーシングのホイールは、スタイリッシュなデザインも多くのユーザーに支持される特徴のひとつだろう。



剛性や軽さだけでなく、OZレーシングがこだわるデザインの美しさも兼ね備えたツイン6本スポークが、ウルトラレジェーラのアイデンティティとなっている。

Ultraleggera

SIZE	P.C.C	HOLE	INSET	PRICE	COLOR
8.0×18	114.3	5	35	7万7000円	CT/MB/GS
9.0×18	114.3	5	30	7万9200円	MB/GS/RW

※GR-FOUR車両装着可能なサイズをピックアップ



GR-FOUR WHEEL COLLECTION OZ RACING Ultraleggera

📞オーゼットジャパン ☎053-469-5011 www.oz-japan.com

最高峰のパフォーマンスを発揮する Made in Italyの雄

文●鈴木明秀 写真●木村博道



WRCの絆から誕生した OZとGRの特別なコラボ

OZレーシングでは、WRCの繋がりがありTOYOTA GAZOO Racing World Teamとのコラボホイールも展開中だ。ひとつはスーパーシリーズモーター・WRT。OZレーシング伝統のマルチスポークは、デザインからも堅牢性の高さを感じるとともに、WRCカーを彷彿させるモデルとなっている。かといってターマック専用ホイールというわけではなく、ベースとなったスーパーシリーズモLMと同様に、走るステージは選ばない。ターマックやグラベル、そしてストリートからサーキットまで、どんなシチュエーションでもスポーツホイールとして高いパフォーマンスを発揮し、ユーザーのドライビングを支えてくれる。また、TGR・WRTモデルでは専用のセンターキャップが付属し、センターサークル部分にはGRのロゴもプリント。コラボモデルならではのデザイン要素も、ユーザーにとって嬉しい。

そしてもうひとつのコラボモデルであるラリー・デザートTGR・WRTは、重量級のクルマを前提に設計されたモデルがベース。TGR・WRTではランドクルーザー250と300をターゲットに最適化を行い、サイズ設定も車種専用とも言える数値で仕上げられている。ちなみに、近年では大型四駆に大きなホイールを履くトレンドもあるが、コラボモデルでは18インチに設定。ダカールラリーでのホイール供給の知見を活かし、四駆としての走行性能を重視。OZレーシングだからこそホイールに仕上げられている。

Superturismo TGR-WRT

SIZE	INSET	HOLE	PCD	PRICE	COLOR
7.5×17	45	5	114.3	6万7100円	RLG
8.0×18	45/38	5	114.3	8万3600円	RLG/RW

※GR-FOUR車両装着可能なサイズをピックアップ

カラー：ラリーグラファイト (RLG)、マットブラック (MB)



センターキャップにはTGRワールドラリーチームのロゴ入り。センターサークルには印刷を施す

GR-FOUR車両との相性バッチリ！ WRCのDNAを継承したコラボモデル

OZ RACING

Superturismo TGR-WRT

GR-FOUR WHEEL COLLECTION



ラリーグラファイト
(Rally Graphite)

レースホワイト
(Race White+Red Lettering)



18インチモデルは8Jで2種のインセットをラインアップ。ちなみに+45サイズは、WRCのラリー1&ラリー2で使用するホイールと同サイズとのことだ



ランドクルーザーGRスポーツにマッチする スタイリッシュな18インチ

Rally Desert TGR-WRT

SIZE	HOLE	PCD	INSET	ハブ	COLOR	PRICE
8.0×18	6	139.7	50	95.1	RLG/MB	8万4700円

※適合ランドクルーザー

カラー：ラリーグラファイト (RLG)、マットブラック (MB)



ホイールサイズはインセットやPCDも含め、ランドクルーザー専用設計となっている。OZレーシングはWRCやダカールラリーで使用するホイールも供給しているだけあって、ラリー・デザートにはそれらのレースで得られた知見も数多く盛り込まれているという。また、サイズ設定が18インチのみなのは、四駆車両としての使い勝手や走破性を優先した結果。ビジュアルだけでなく、ホイールとしての性能にもこだわっているのだ。本格的なオフロード走行が求められるモンゴル市場において、本モデルは高い評価を受け、大ヒットモデルとなっている。



R-Wing CARBON

61万6000円 クリアゲル仕上げ

ウイング剛性を上げるために標準ルーフボイラー置き換えタイプを採用。日本の車検に対応したウイング。本体（FRP）＋フラップ（カーボン）のハイブリッドタイプ（38万5000円・税別）もある



ステアリングスイッチケース

7万4800円～

ステアリング交換をした際に、純正ステアリングに装備していたスイッチ類を異色することができるスイッチケース。パドルユニットの用意もあるのでATにも対応する



センター出しマフラーを開発中

フロッグドライブでは現在センター1本出しマフラーを開発している。リヤバンパーに設けられたセンターホールからマフラーのテールが出るイメージ。強烈なインパクトのマフラーになりそうだ



拡幅したリヤフェンダーを受け止めるリヤバンパー。迫力あるリヤフォルムを演出することができる



アレンジ次第で異なる表情を生む

Wide Body Kit for GR Yarisをベースとしながら、フロントアンダーやサイドエンドなどにスポイラーやアクセントを配することで、さらなるレーシーな雰囲気を醸し出す



HF Competition

モータースポーツ製品を手がけるHIDとFrogDriveが共同開発した、新保安基準適合シート。大型ヘッドプロテクション付きフルバケットシートだ

リヤフェンダー、リヤバンパーの計6点となる。リヤフェンダーはオーナーの好みに合わせて、パネルカットによる高いクリアランス確保仕様と、カット無しで装着する仕様の2種類から選択可能だ。

に合わせた丁寧な「現車合わせ」を行うことで、カスタムカーならではの仕上がりと圧倒的な存在感を引き出すのだ。

価格は200万円（税込）からと、気軽に手が出せるキットではない。ただし、妥協なきデザインと職人技が詰まったこの至高のボディキットで、あなたのGRヤリスを唯一無二の1台へと仕立ててみてはいかがか？

もったもったGRヤリスらしい究極のモディファイだ

モータースポーツのDNAを濃密に受け継ぐGRヤリス。その潜在能力とアグレッシブなスタイルをさらなる高みへと引き上げるのが「フロッグドライブ」のGRヤリス専用ワイドボディキットだ。

このキット最大の魅力は、圧倒的な迫力を誇る造形美と、日常での扱いやすさを極限まで突き詰めた実用性の融合にある。全幅は+15mm拡幅（最終全幅1820mm）に設定。WRマシンを彷彿とさせる迫力のスタイリングを実現しながらも、最大のメリットである「構造変更手続きの必要無し」で車検適合が可能な絶妙なサイズ設計となっている。

適合はGRヤリスの前期型・後期型双方をカバー。キット構成はフロントバンパー、フロントフェンダー、インナーフェンダー、サイドカバー、

FrogDrive SPECIAL TUNING & CUSTOM PARTS

☎フロッグドライブ ☎04-7113-6531 <https://frogdrive.net/>

WRCの血統を研ぎ澄ます Rally2をイメージさせるワイドボディキット

写真●木村博道

Wide Body Kit for GR Yaris

200万円

※塗装費用、お預かり期間、追加カスタム（ホイールマッチングなど）の詳細については、個別お見積り



全幅を+15mm拡幅し、全体を1820mmとしたワイドなフォルム。見た目のインパクトはあるものの、構造変更の必要はなく、車検対応な範囲で収められている



装着パーツはフロントバンパー／フロントフェンダー／フロントインナーフェンダー／サイドカバー／リヤフェンダー／リヤバンパーになる



GRヤリスGen.1の雰囲気を出しつつ、オーバーフェンダーとキレイなつながりを見せるフロントバンパー

Bonnet Duct Frame for GR Yaris Type1

4万7300円

ラリーテイストの意匠を追加できるダクトフレーム。ボンネットの穴あきは不要となる

